

T³ Earth Forum (T キューブ・アースフォーラム)*

第 8 回 2024 年 12 月 5 日(木) 15:00~17:00

未来の音楽と地球環境 -more and more から less is more へ-

音楽で「足るを知る」を追求する"LESS IS MORE"の弦楽四重奏グループの音楽プロデューサーとヴァイオリン奏者・チェロ奏者（東京芸大院卒）を招いて、未来の音楽と地球環境をテーマに、実演と体感、対話を行います。見えない音楽と見えない環境の類似性や、純音・不協和音・変拍子の体感、地域に宿る地球環境と瞬時に宿る全体の音楽、正しさを追求する科学と美しさを追求する芸術など、未来の音楽と地球環境に興味のある方は、ぜひご参加ください。

場所： 総合地球環境学研究所セミナー室 3・4 およびオンライン

接続先：

<https://us02web.zoom.us/j/88047170730?pwd=q9s0Nyzp0EPhmaZyljtCAJQj9lCl1.1>

ミーティング ID: 880 4717 0730

パスコード: 653072

（お願い）氏名・ご所属を表示してご参加ください。無断転載をお控えください

プログラム:

15:00-15:20 第 1 部 今なぜ Less is more か？

- | | |
|--------------------------|------|
| (1) 趣旨説明 | 谷口真人 |
| (2) 足るを知る | |
| ① LESS IS MORE を和訳せよ | 多田泰教 |
| ② 龍安寺のつくばい：日本の美意識のポテンシャル | 多田泰教 |
| ③ 松林図屏風：簡素であっても粗末ではない | 多田泰教 |
| ④ 生演奏：J・S・バッハ無伴奏作品（予定） | 加藤周作 |

15:20-16:20 第 2 部：ワークショップ

- | | |
|-------------------------------|------|
| (1) 倍音 | |
| ① 純音と楽音の違い：不純物のはたらき | 多田泰教 |
| ② 音色の秘密：整数次倍音と非整数次倍音 | 多田泰教 |
| ③ ノイズの効用：レコーディング現場の変化 | 多田泰教 |
| ④ 和音の物理的背景：ピタゴラス音律 | 多田泰教 |
| ⑤ 音源：R・シュトラウス『ツァラトウストラかく語りき』 | |
| (2) 和音 | |
| ① 和音の拡張の歴史 | 中西圭祐 |
| ② 不協和音：踏切の警報など | 多田泰教 |
| ③ テンションノート：ルール違反から生まれる美 | 加藤周作 |
| ④ 生演奏：モダンジャズとクラシックの接点 | 加藤周作 |
| I・ストラヴィンスキー『春の祭典』 | |
| B・エヴァンス『Blue in Green』へのオマージュ | |

(3) 変拍子

- | | |
|---|-----------|
| ① 調性音楽の終焉とリズムの拡張 | 多田泰教 |
| ② 変拍子の体感 1: 五拍子 | 加藤周作/中西圭祐 |
| ③ 変拍子の体感 2: 七拍子 | 加藤周作/中西圭祐 |
| ④ なめらかな変拍子 | 多田泰教 |
| ⑤ 「Seaside Musette-Shiogori Version-J」: | |

16:20-17:00 第3部 パネルディスカッション

趣旨：音楽と踊りが生み出す一体感は、類人猿における「毛づくろい」に相当する、と R・ダンバーは指摘した。集団の規模を大きくし、脳の発達を促したという。人類の進化に寄与したかもしれない音楽の歴史を紐解き、未来の音楽について考えてみたい（多田泰教）

発表者・演奏者

多田泰教（音楽プロデューサー）

音楽プロデューサー。1958 年生まれ。和歌山県出身。地元の高校を卒業後上京し、バンド活動、国会議員秘書、出版社勤務などを経て、1986 年株式会社双美（ふたみ）商會に勤務。2006 年国土交通省『熊野川オリジナルソングコンテスト』にてグランプリを受賞、会社経営のかたわら『NHK BOSAI 体操』、まゆまろソング『おともだち 2000 年』（京都府）などを手がける。2016 年経営の第一線を退き、弦楽四重奏「LESS IS MORE」を結成。2018 年 NY 公演、同年映画『あいが、そいで、こい』テーマ曲、2019 年ロイズ CM『バトンクッキー篇』の制作を経て、2022 年から『シオゴリキャンプ』（田辺市）、「津和野会議」（島根県津和野町）、駐日スペイン大使館『禅と美 - スペインからのまなざし -』など、公共性の高い事業に音楽で参加し、今日に至る。

加藤周作（ヴァイオリン奏者）

1994 年生まれ。兵庫県出身。2013 年チェコ音楽コンクール第 2 位。第 22 回アンドレア・ポスタッキーニ国際ヴァイオリンコンクール第 2 位(最高位)。2017 年に東京藝術大学を卒業後ドイツへ留学し、帰国後はレコーディング・作編曲など創作活動を行っている。

中西圭祐（チェロ奏者）

1996 年群馬県出身。東京藝術大学附属高校を経て東京藝術大学器楽科および同大学院音楽研究科修士課程修了。在学中は（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団より奨学金を得るほか、第 68 回全日本学生音楽コンクール全国大会第 1 位、同コンクール日本放送協会賞、（公社）企業メセナ群馬芸術文化奨励賞等受賞。現在は室内楽奏者や国内オーケストラの客演奏者として各地で活動するほか、さだまさし、林部智史、増田恵子、手越祐也、Vaundy ほかに多数のアーティストのライブサポートやスタジオレコーディングを担当。

* 総合地球環境学研究所・「地球人間システムの共創プログラム」では、認識変容(Cognitive Transformation)・行動変容(Behavior Transformation)・社会変容(Social Transformation)と地球人間システムに関する「T³ Earth Forum」を定期的に開催します。

人間活動の拡大による地球環境の限界とそれを越える事象の連鎖が危惧されるなか、人類はどのように持続可能な社会を構築できるのでしょうか。また、その根底にある問いとして、人はどのように生きるべきなのでしょう。このフォーラムでは、地球環境の変化が、どのような人の認識変容や行動変容、社会変容と関わっているのかを議論します。人が内面に持つ意識・価値と、それが外に現れた時の行動・習慣、そしてそれらが社会で共有される時の規範や制度・システム等と地球環境との関係を、様々な分野の方々と議論します。